

行外配付第七九號

行外稿

週報

第一七四號

自康德七年五月十九日
至同 同 二十五日

滿洲興業銀行調查課

週報一第一七四號一 目次

△週間滿洲重要日誌	一
△週間國外重要日誌	二
△滿洲財界事情	
物資物價統制要綱	四
土木建築業統制法公布	六
證券思想普及對策	九
金ノ使用制限	一〇
外國貿易概況（三月分及第一、四半期）	一二
△日本財界事情	
日滿經濟懇談會	一五
預金部資金運用委員會	一六
國債所有者別所有額（十四年十二月末現在）	一七
外國貿易（五月中旬）	一九

株式市況 二〇

金融事情 二一

△支那財界事情

廣東港開放後ノ實情 二三

軍票、聯銀券價格維持策強化 二三

△諸表

當行週末主要勘定殘高 二五

滿洲中央銀行券、日本銀行券、朝鮮銀行券發行高 二六

海外爲替相場、海外金銀塊相場 二七

株式相場 | 東京短期 二八

同 | 奉天、大連短期 二九

商品相場 | 大阪綿布、棉花、神戸豆粕 三〇

重要商品公定價格 | 大豆、豆粕及主要糧穀 三一

同 | 米穀、綿糸布 三二

◎週間滿洲重要日誌

五月二十日

△國務院會議ニ於テ物資物價統制法制定要綱ヲ可決。

二十一日

△臨時國務院會議ニ於テ産業、經濟兩部及企畫處關係行政機構調整要綱ヲ可決。

二十二日

△土木建築業統制法（勅令第二百二十六號）及土木建築業統制法施行規則（交通部令）公布、即日施行。

△滿洲土木建築業協會令（交通部令）公布、即日施行。

二十三日

△新京ニ於テ滿洲土木建築業協會發會式舉行。

二十五日

△金使用規則（經濟部令）公布、六月一日ヨリ施行。

◎週間國外重要日誌

五月十九日

△英佛聯合軍總司令官更迭、佛ウエイガン將軍新任。

△獨逸、白耳義領オイペン、マシメヂー、モレネ三地方ノ併合ヲ布告。

△獨逸軍總領和蘭領統治官インカート氏任命。

△伊太利、チアノ外相、戰爭終結前ニ伊太利モ參戰スベシト演說。

△印度、一般消費物奢ノ輸入制限實施ニ決定。

二十日

△日本、昭和十五生糸年度生糸標準賣渡價格千七百圓ト決定。

△獨逸軍、佛領ラン、カンプレーニ進軍。

二十一日

△蘭印、ギルター兩建制採用、建値一ポンド〓七ギルター六〇セント、一ドル〓一ギルター八十七セント半。

二十二日

△日本、東京ニ於テ日滿經濟懇談會ヲ開催。

△英國、國防全權法成立。

二十四日

一 獨逸軍、佛領カレ一包圍。

二十一日

二 日本、對滿事務局分課規定改正（庶務、經濟、監理ノ三課ヲ置ク）。

三 獨逸、蘭印ノ在留獨逸人虐待ニ關シ速ニ之ヲ改メザレバ斷乎報復手段ニ出ズベシト聲明。

◎ 滿洲財界事情

物資物價統制要綱

政府ハ近來益々深刻化ヲ來シツ、アル物資及物價對策トシテ、國家及國民經濟ニ最モ關係ノ深イ特殊物資ニ付テハ夫々特殊法ヲ制定シ、又一般的ニハ暴利取締令ニ依リ物資ノ圓滑ナル配給竝ニ公正ナル價格ノ維持ヲ圖ツテ來タガ、依然闇取引、買ニメ、賣惜ミ等跡ヲ斷タズ、現行法規ニテハ取締ノ徹底ヲ期シ得ヌノニ鑑ミ物資及物價統制ノ全面的強化策ヲ考究中デアツタガ、之ガ基本法トシテ物資物價統制法ヲ制定スベク五月二十日ノ國務院會議ニ同法制定要綱ヲ上程可決、近ク之ヲ公布實施スルコト、ナツタ。

本統制法ハ價格及料金ノ公定ヲ始メ、配給業ノ統制、物品移動ノ制限禁止、移動及販賣ノ強制、配給ノ制限禁止、規格ノ統制、生産及消費等ノ制限禁止等戰時資源竝ニ國民生活ニ必要ナル物資ヲ全般的ニ規正セントスルモノデ、本法制定ノ要綱左ノ通りデアル。

一、價格ノ公定　　政府ハ物品及地域ヲ指定シテ販賣竝ニ收買價格ヲ公定スルコトヲ得。

公定販賣價格ヲ超エル價格ヲ以テ販賣ヲ爲シ又ハ公定收買價格ニ非ザル價格ヲ以テ收買スルコトヲ得ナイ。而シテ之ハ營利ヲ目的トスル取引者ニ適用スルモノデアツテ、取引ガ自己ノ業務ニ屬スル場合モ之ヲ適用スル

二、料金ノ公定　　政府ハ法ノ適用ヲ受クベキモノヲ指定シテ取引物品ノ賣買手数料金、

轉賣差益金又ハ製造加工ノ諸負料金を公定スルコトヲ得。而シテ超過料金を其ノ取得ヲ禁ズル

三、價格、料金ノ認可　政府ノ特ニ指定セル統制會社又ハ組合ハ其ノ取引物品ノ價格又

ハ料金等ニ付政府ノ認可ヲ受ケルモノトシ、認可ヲ受ケタル價格又ハ料金ハ公定價格又ハ料金ト看做ス

四、取引條件ノ制限禁止　一乃至三ノ事項ニ付必要アルトキハ物品取引ノ條件ニ付テ制限又ハ禁止ノ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

五、脫法行爲ノ禁止　如何ナル名目ヲ以テスルモ以上ノ制限又ハ禁止ヲ免ル、コトヲ得ナイ

六、在貨調査　政府ハ必要アリト認ムルトキハ物品及地域ヲ指定シ、他人又ハ法人ノ所持物品ニ關シテ必要事項ノ報告ヲ徵取シ又ハ之ニ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

七、配給業ノ統制　政府ハ必要アリト認ムルトキハ物品及地域ヲ指定シ、當該物品ノ配給業者ヲ制限シ得ルト共ニ之等業者ニ對シテ組合ノ結成、統制協定ノ設定、改廢又ハ統制協定ニ從フベキコト其ノ他統制上必要ナル事項ヲ命令スルコトヲ得。又之ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得

八、移動ノ制限禁止　政府ハ必要アリト認ムルトキハ物品又ハ地域ヲ指定シ、當該物品ノ移動ノ制限又ハ禁止ヲナス爲ニ命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

九、移動及販賣ノ強制　　政府ハ必要アリト認ムルトキハ物品ヲ指定シ、其ノ移動又ハ販

賣ヲ命ズルコトヲ得。又之ニ關シ必要ナル處分ヲ爲スコトヲ得。

一〇、配給ノ制限禁止　　政府ハ必要アリト認ムルトキハ物品及地域ヲ指定シ、該品ノ配

給ニ關シ制限又ハ禁止ヲ爲スコトヲ得。

一一、規格ノ統制　　政府ハ必要アリト認ムルトキハ物品又ハ地域ヲ指定シ、其ノ物品ノ

規格ニ關シ命令ヲ爲スコトヲ得。

一二、生産及消費等ノ制限禁止　　政府ハ物品ノ需給調整上特ニ必要アリト認ムルトキハ

物品及地域ヲ指定シ、物品ノ製造、加工、變形使用、消費又ハ譲渡ヲ制限又ハ禁止スル

コトヲ得。又之ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得。

一三、特別法トノ關係　　既ニ特別法令ニ規定サレテ居ルモノニ付テハ當該法令ニ據ラシ

△

土木建築業統制法公布

政府ハ土木建築業ガ我が國建設ノ基礎事業デアリ、殊ニ戰時下資材、資金、勞力等ノ需給調
整ヲ強化スベキ情勢ニアルニ鑑ミ豫テ之ガ統制ヲ企圖シツ、アツタガ、五月二十二日勅令
ヲ以テ土木建築業統制法ヲ公布、又同日交通部令ヲ以テ同法施行規則及滿洲土木建築業協
會令ヲ公布シ、何レモ即日施行スルコト、ナツタ。又之ト同時ニ左ノ如キ政府當局談ヲ發
表シタ。

政府當局談

土建業者ハ東亞新秩序建設ノ先驅者デアリ、土建事業ハ我が國建設ノ基礎的事業デアル。政府ハ其ノ重要性ニ鑑ミ之ヲ國策遂行ニ適スル様ニ組織化シ、工事能力ノ擴充ヲ圖ルト共ニ一面ニ於テハ業界ノ舊套ヲ刷新シ、斯業ノ健全ナル進步發達ヲ促進スル目的ノ下ニ先般來之ガ實施方策ニ付官民關係者協力ノ上周到ナル檢討ヲ遂ゲ來ツタ所、此ノ程漸ク成案ヲ得ルニ至リ、本日ヲ期シテ土木建築業統制法並ニ同法施行規則及滿洲土木建築協會令ヲ公布、即日施行スル邊ビトナツタ。

土木建築業統制法ハ從前之ニ營業者ノ監視セレテ居タ土木建築業ヲ許可營業トシ、以テ業者ノ質的向上ト工事能力ノ增強ヲ圖ルト共ニ許可營業者ハ總テ之ヲ滿洲土木建築業協會ニ加入セシメ、政府ノ指導統制並ニ助成ヲ受ケシムルコトヲ骨子トシタモノデアル。

尙本法ノ適用ヲ受ケル業者ハ一定請負能力ヲ有スル者ニ限り小規模ノ者ハ從來通り自由營業ニ委ネルコト、シタ。茲ニ注意ヲ要スル點ハ本法ハ業者ヲ國策遂行ニ即應セシムルヤウニ統制スルヲ目的トスルモノデアアルガ、其ノ内容ニ於テハ業者ガ從來ノ營業ヲ行フ上ニ些カノ不安ヲ與ヘルガ如キモノデアナク、寧ロ現下資金、物資、勞力ニ關スル困難ナル狀況下ニ於テ惡戰苦闘シツ、アル業者ヲシテ良ク其ノ工事能力ヲ發揮セシメンガ爲ニ滿洲土木建築業協會ヲ遙ジテ助成指導ヲ與ヘントスル點ニ重點ガ置カレテ居ルコトデアル。從ツテ業者ハ安ンジテ政府ノ意圖スル所ヲ諒解シ、進ンデ本法制定ノ趣旨達成

ニ邁進セラレシコトヲ切望スル。

土木建築業統制法制定ノ趣旨ハ右政府當局談ニ明示スル如クデアアルガ、本法及關係法規ノ大要ヲ見ルニ本法ハ土木建築業ノ向上發達ヲ圖リ之ヲ國策遂行ニ即應セシムル如ク統制スルヲ以テ目的トス（本法第一條）ルモノデアツテ、本法ニ於テ土木建築業ト稱スルハ土木工事又ハ建築工事（一廉ノ工事費三萬圓以上ノモノ）「企業者ニ於テ支給スル物資又ハ勞力ヲ含ム」一施行規則第一條一ニ付請負ヲ爲ス業ヲ謂ヒ、土木建築業者ト稱スルハ交通部大臣ノ定ムル所ニ依リ許可ヲ受ケ其ノ業ヲ營ム者ヲ謂フ（本法第二、第三條）。而シテ交通部大臣ハ土木建築業者ニ對シ監督上、公益上又ハ統制上必要ナル命令ヲ爲シ得ルコト、ナツテ居ル（本法第六、第七條）。又土木建築業者ハ新業ノ向上發達ヲ圖リ國策ノ遂行ニ資スル目的ヲ以テ社團法人タル團體ヲ設立スル（本法第十條）コト、ナツテ居リ、右ニ依リ滿洲土木建築業協會令ニ基キ土木建築業統制法第三條ノ許可ヲ受ケタル土木建築業者ハ原則トシテ協會ノ會員トナラネバナラヌコト、ナツテ居ル（協會令第二條）。

我が國ニ於ケル諸開發計畫ノ進捗ト共ニ土建界ハ逐年異常ノ發展ヲ示シテ居ルガ、今後國防、經濟上ノ要請ニ基キ此ノ趨勢ハ更ニ增強ノ一途ヲ辿ルベキハ必至デアアル。乍然一方ニハ資材、勞力、資金等ニハ自ラ限度ガアリ、其ノ圓滑ナル運営ヲ期スル上ニ於テ全面的統制ガ要請サレルノデアアル。元來土木建築業ノ統制ハ頗ル困難視サレテ居タノデアアルガ、今回其ノ根據法ノ公布ヲ見、強力ナル統制團體ノ設立ヲ見ルニ至ツタコトハ國家ノ諸建設遂

行上貢獻スル所大ナルモノアルベク期待サレテ居ル。

證券思想普及 對策

過般新京、哈爾濱、奉天、安東ノ各地デ行ハレタ證券業者懇談會ニ於テ證券思想普及對策ニ付種々示唆ニ富ム意見ノ開陳ガアツタガ、政府ニ於テモ斯カル民間側ノ要望ニ副フベク目下之ガ具体策ヲ考究中デアリ、國內資金動員ノ必要性ガ強調サレテ居ル折柄、之ガ成行ニ付テハ多大ノ關心ガ寄せラレテ居ル。右證券業者懇談會ニ於ケル業者側ノ意見ヲ示セバ大要左ノ通りデアル。

一、公社債消化策ニ付テ

- (1) 中銀手持公社債ノ賣捌ニ付業者ヲ積極的ニ利用サレ度イ
- (2) 滿洲國供託法ニ指定ノ滿洲國國債ヲ國內債ニ限ラレ度イ（現在日系會社中ニハ供託法ニ依ル供託公債ニ往々ニシテ滿洲國日債債ヲ使用スルモノガアリ、之ハ國內債ノ消化ヲ妨ゲル）

(3) 市中手持公債ノ券面種類交換ヲ容易簡便ニサレ度イ（要望通り解決済）

二、滿洲物株式人氣増進策ニ付テ

取引所上場物件ノ銘柄並ニ數量ノ増加ヲ圖ル爲政府並ニ特殊會社ノ持株中有利ナモノヲ積極的ニ開放サレ度イ

三、對滿人證券思想普及具体策ニ付テ

- (1) 新京、哈爾濱其ノ他主要都市ニ取引所ヲ至急設置サレ度イ
- (2) 證券業者ノ使用人ニ滿人ヲ用フルコト
- (3) 商工公會員ニ證券投資ニ關スルパンフレットヲ反覆郵送スルコト
- (4) 映畫ニ依ル證券思想ノ普及
- (5) 滿人ノ有スル投機心ヲ證券界ニ導入スル爲滿取中心ニ證券投機ヲ或ル程度認メルコト
- (6) 滿字新聞經濟欄ニ證券關係記事ヲ掲載スベキコト
- (7) 日本經濟雜誌ノ翻譯出版
- (8) 投資相談所ノ設置

惡性インフレ防止、物價昂騰抑止ノ具體的ニ一方策トシテ證券ヲ適ジテ遊資ヲ吸收スルコトハ當面ノ重要問題デアリ、右ノ如キ手段ニ依リ國民ノ公債消化特ニ滿人層ニ之ヲ徹底ヲ圖ルコトハ當然考究サレネバナラヌ問題デアル。關係當局ニ於テモ右ノ見地カラ業者ノ意見ヲ參酌シ近ク具體策ヲ決定スルコト、ナツテ居ル。

金ノ使用制限


國家ニ於ケル金ノ保有確保ニ付テハ政府ハ其ノ積極策トシテ從來産金ノ獎勵、買上等ノ制度ヲ強化實施シ來ツタガ、其ノ消極的方策トシテノ使用制限ニ付テハ我が國ニ於テハ未ダ之ヲ實施シテ居ナカツタノデアル。然ルニ現下ノ情勢ニ於テハ此ノ消極的方面ニ於テモ適當ノ施策ヲ要請サル、ニ至リ五月二十五日經濟部令ヲ以テ金使用規則ヲ公布、六月一日ヨ

リ之ヲ施行スルコト、ナツタ。本規則ノ大要ヲ示セバ左ノ通りデアル。

二、金ヲ用ヒタル製品（金箔、金糸、金粉、金液及此等ヲ用ヒタル製品並ニ金鍍金ヲ施シタル製品ヲ除ク）ニシテ其ノ金品位千分中三百七十六ヲ超ユルモノハ當分ノ内之ヲ製造スルコトヲ得ズ、但シ工業用若ハ醫療用トシテ必要已ムヲ得ザルモノハ此ノ限ニ在ラズ（

第一條）

三、金箔、金糸、金粉又ハ金液ハ當分ノ内左ノ各號ニ掲グル用途ニ供スルコトヲ得ズ

- (1) 屏風、襪、額縁其ノ他表裝用
- (2) 天金、金文字、裝幀其ノ他製本用
- (3) 看板、標札其ノ他廣告用
- (4) 金文字、金縁、金散シ其ノ他印刷用
- (5) 字、商標其ノ他標識用

（第二條）

三、當分ノ内物ノ加工又ハ修繕ノ爲金品位千分中三百七十六ヲ超ユル金地金ヲ使用スルコトヲ得ズ、但シ工業用若ハ醫療用トシテ必要已ムヲ得ザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

（以上三條共省長若クハ新京特別市長ノ許可ヲ受ケタルトキハ使用ヲ許サレルコト、ナツテ居ル）

四、産金買上法ノ規定ニ依リ經濟部大臣ノ許可ヲ受ケ金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料

トスル物ノ賣買ヲ業トシテ營ム者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ノ外ハ金地金ヲ讓渡スルニ付省長又ハ新京特別市長ノ許可ヲ受クベシ

(1) 滿洲中央銀行又ハ産金買入人ニ賣却スルトキ

(2) 産金買上法第七條ノ二ノ規定ニ依リ經濟部大臣ノ許可ヲ受ケ金地金、金ノ合金又ハ金ヲ主タル材料トスル物ノ賣買ヲ業トシテ營ム者ニ讓渡スルトキ

(3) 工業用又ハ醫療用トシテ必要已ムヲ得ザルモン、製造ニ使用スルモノナルコトヲ確認シタルトキ

(4) 省長又ハ新京特別市長ノ發給シタル金使用許可證ノ呈示ヲ受ケタルトキ

右規則制定ノ趣旨ハ云フマデモナク、能フ限り金ノ消費節約ヲ圖リ、之ヲ集中シテ最モ有效ニ活用セントスルモノデ、品位千分ノ三百七十六ヲ超ユルモノ即チ九金以上ノ金ヲ用ヒタル物品ノ製造、加工及修繕ニ對シ工業用、醫療用トシテ必要缺クベカラザルモノ或ハ特ニ許可ヲ受ケタル場合ノ外之ガ使用ヲ禁止シ、金箔、金糸、金粉及金液ニ對シテモ其ノ用途ヲ制限スルコト、ナツタモノデアアル。

外國貿易概況（三月分及第一、四半期）

經濟部貿易科發表ニ依ル三月分ノ外國貿易ハ輸出七千四百萬圓、輸入一億五千一百萬圓、差引七千六百萬圓ノ入超デアアル。之ヲ對日本、支那、其他各別ニ前月分トノ増減ヲ見ルニ左ノ通りデアアル。

輸 出

(單位千圓)

三月分 二月分 增 減

日 本	四、五、三、三二	六、三、三、二五	(+) 一、七、九、九三
支 那	二、五、一、一八	一、五、九、四七	(+) 九、一、七、一
其 他	四、四、四、九	三、四、三、二	(+) 一、〇、一、七
合 計	七、四、八、九九	八、二、七、〇四	(-) 七、八、〇、五

輸 入

日 本	一、二、七、〇、三〇	一、〇、八、一、七四	(+) 一、八、八、五、六
支 那	六、六、五、七	六、四、一、三	(+) 二、四、五
其 他	一、七、五、六、四	五、九、八、六	(+) 一、一、五、七、八
合 計	一、五、一、二、五、一	一、二、〇、五、七、二	(+) 三、〇、六、七、九

尙本年第一、四半期(一月—三月)貿易額左ノ通りデアル。

日 本	一、六、三、二、一、二	三、六、三、一、六、二	(+) 二、〇、〇、九、五、〇
支 那	五、四、七、一、八	一、八、四、四、八	(+) 三、六、二、七、〇
其 他	一、一、〇、〇、四	三、五、六、八、八	(-) 二、四、六、八、四
合 計	二、二、七、九、三、四	四、一、七、二、九、八	(-) 一、八、九、三、六、四

輸 出 輸 入 (+) 出超, (-) 入超

右ヲ前年同期分ニ比スレバ輸出ハ八百萬圓ノ減少、輸入ハ一億圓ノ著増ヲ示シテ居ル。而シテ輸出ノ減少ハ主トシテ大豆ノ對第三國輸出ノ減少ニ基因シ、輸入ノ著増ハ各種建設資材及生活必需品等ノ對日輸入ノ増加ニ因ルモノデアル。尙輸出品ニ比シ輸入品ノ値上リガ顯著デ、之ガ逆調關係激化ノ一因ヲ爲シテ居ルモノデアル。

◎ 日本財界事情

日滿經濟懇談會

日滿經濟懇談會ハ東亞經濟懇談會及日滿實業協會共同主催ノ下ニ東京ニ於テ五月二十二日ヨリ二十四日マデノ三日間ニ亘リ開催セラレタ。此ノ種ノ懇談會モ回ヲ重ネルニ從ツテ其ノ内容ヲ充實シテ來テ居リ、今回モ交通、鑛工業、商業貿易、金融、農業ノ各分科ニ分ツテ日滿官民有力者ノ忌憚ナキ意見ノ開陳が行ハレ、刻下ノ重要經濟問題ノ實行的結論ヲ釀成スル上ニ多大ノ成果ヲ收メタ。

會期中ヲ通ジテ開陳セラレタ論議中注目セラレルモノハ、第一ニ東亞新秩序建設ノ方法論ノ再檢討トシテ、日滿支三國ノ共存共榮ヲ圖ルコトハ勿論デアルガ、其ノ段階トシテ先ヅ日滿ノ結合ヲ強化シテ然ル後ニ支那ニ及ボスコトが實行上モ容易デアリ、實質的效果アラシムル良策デアル。即チ此ノ方針ヲ徹底スレバ現在幾多ノ問題ヲ投ゲカケテキル日滿間ノ摩擦モ除キ得ルコトニナルトスルモノデ、之ガ具體的意見トシテハ日滿ヲ一体トスル物資物價統制ノ確立、日滿貿易手續上ノ簡易化、關東州行政機構ノ再檢討等ガ提唱セラレタ。金融分科會ニ於テハ滿洲國開發資金調達ノ再檢討が操り上ゲラレ、日本側ノ現地調辨ノ主張ニ對シテ、滿洲國側カラ、既ニ現地調辨ニ就テハ極力實行中デアルガ只滿人ノ預金思想ノ低調其ノ他ノ特殊事情ヨリ現地調辨ニモ限界ノアル旨ノ意見ガ開陳セラレ、經濟統制ノ再檢討ト共ニ圓滑ナル對策ノ樹立ガ要望セラレタ。

更ニ日滿支間ニ於ケル連絡機關トシテ日滿支物資交流ノ圓滑化竝ニ物價ノ均衡ヲ圖ル爲ニ日滿支物資、物價統制官民協議機關ノ設立ガ提案セラレテ注目ヲ引イタ。

預金部資金運用委員會

預金部資金運用委員會ハ五月二十四日第七十五回會議ヲ開催、地方資金二億五千四百九十一萬圓及生産力擴充資金一億七千三百十五萬圓ノ新規融通ヲ決定シタ。之ニ依リ昭和十五年年度運用決定濟資金ハ前同委員會ニ於テ決定シタ國債ノ引受又ハ買入資金十八億圓ト合セテ二十二億二千八百六萬圓トナツタ。今回ノ資金運用決定ニ於テ注目セラレルノハ生産力擴充資金トシテ「政府保證債券ノ引受又ハ買入資金」トシテ一億五千萬圓ヲ決定シタコトデ、從來各銘柄毎ニ基ニ帯度決定シテ來テキタモノヲ包括的ニ限度ヲ定メ其ノ範圍内ニ於テ自由ニ計量シ得ルコトトシタモノデアアル。即チ之ニ依リ起債市場ノ情勢ニ應ジテ適宜ノ處置ガ採リ得ルコト、ナルガ、之ハ起債市場對策ノ一ツトシテ採用セラレタモノデアアル。而シテ此ノ政府保證債券ハ適用ヲ受ケルモノハ

東北興業債券、燃料興業債券、臺灣拓殖債券、滿洲拓殖公社債、北支開發債券、日本發送電社債、中支振興債券、鑛業開發債券、興業債券、朝鮮殖産債券

デアアル。委員會ノ資金決定額ハ左ノ通りデアアル。(單位千圓)

一、地方資金

二五四九一〇

二、生産力擴充資金

造船資金	三一五〇
政府保證債券ノ引受又ハ買入資金	一五〇〇〇〇
滿洲國國債買入資金	一〇〇〇〇〇
滿洲重工業社債買入資金	一〇〇〇〇〇
計	一七三、一五〇
三、合 計	四二八、〇六〇

國債所有者別所有額（十四年十二月末現在）

大藏省發表ニ依ル昭和十四年十二月末現在ノ國債所有者別所有額調左ノ通りデ、其ノ内所有率ノ高イノハ預金部ノ二二。八%、普通銀行ノ二二%、特殊銀行ノ一七。七%等デアル。

所 有 者 十四年末所有額 向上割合 十三年末比較（増）

一、金融機關

普通銀行	四七三、九二六一	二二。〇%	一、一五、四五、四
貯蓄銀行	一、八九三、四九四	八。八	四五、五、四九二
特殊銀行	三、七九六、八九三	一七。七	一、一六、九、四九三
信託會社	三三三、三一四	一。五	二三、八、三四
保險會社	七九八、三七七	三。七	二四、一、〇一八

（單位）
千圓

產業組合中央金庫 及信用組合關係	二二九、九九五	一%	八三、一二二
小計	一、七九〇、三三五	五四。八	三、〇八八、四一四
三、政 府 筋			
預 金 部	四九一、六二八四	二二。八	一、五四五、〇九二
簡易生命保險 及郵便年金	四七七、三二六	二。二	八七、八五〇
其ノ他政府部內各 會 計	五五九、八八〇	二。六	一一一、八六四
政 府 關 係	二二六、四九〇	一。一	一、五八一
共 濟 組 合			
地方公共團體	六六、九八四	〇。三	六、一五七
小 計	六、二四六、九六六	二九。〇	一、七五三、五四六
三、其 他			
公衆及其他	三、四八三、九〇四	一六。二	四、五六、五一七
總合 計	二一、五二〇、二〇六	一〇〇。〇	五、二九七、四七七

「備考」米穀證券及蠶糸證券ハ之ヲ除ク

外國貿易（五月中旬）

大藏省發表ニ依ル五月中旬ニ於ケル日本ノ對外貿易概況左ノ通りナル。

（單位千圓）

	輸出	輸入	(+) 出超、(-) 入超
内地	九八七六七	九六四三〇	(+) 二三三三
朝鮮	六〇四一	六八九〇	(-) 八四九
臺灣	四四八九	二七三五	(+) 一七五四
本旬合計	一〇九二九七	一〇六〇五九	(+) 三二三八
前年同旬	一〇九一九三	一〇六九六四	(+) 二二二九
前旬	一二六七九三	九一五七五	(+) 三五一八
一月以降累計	一、五〇六九七一	一、四八五五七五	(+) 二一、三九六
前年同期	一、一五四四八一	一、二一四九七四	(-) 六〇、四九三

尙本旬貿易ヲ重要品別ニ見ルニ前年同旬ニ比シ輸出ニ於テハ綿織物、人絹織物、陶磁器、人絹糸、雜品等ガ増加、生糸、機械類、罐頭詰食料、毛織物、綿織糸、木材等ガ減少シ、輸入ニ於テハ棉花、羊毛、パルプ、硫安、小麥等ガ増加、豆類、生ゴム、酒精、雜品等ガ減少シテナル。

株式市況

歐洲ノ戰況ハ引續キ活潑ニ展開シツ、アルガ。歐洲戰況カラ感激ヲ失ツタ市場ハ更ニ買氣ヲ刺戟セズ、雜株ノ整理商内ガ始マリ、週初ハ概シテ軟調デアツタ。其ノ後材料ノ輻輳ニ終始氣迷商狀ヲ呈シタガ、獨逸軍ノ快勝ニ戰爭短期終了說濃厚トナリ、海運株中心ニ一齊落潮ヲ迎リ、週末ニハヒツトブーノ八月戰爭終了言明ガ傳ヘラレテ落調ハ益々著シク、投物殺到シテ諸株一齊ニ崩落ヲ示シタ。

東株短期週間高低

銘柄	週初	高値	安値	週末
新東	一四〇八〇	一四二〇〇	一三九〇〇	一四〇四〇
大新	七二一〇	七二六〇	七一〇	七二六〇
鐘紡	一六七八〇	一六九三〇	一六五五〇	一六五五〇
新鐘	一〇六五〇	一〇七五〇	一〇四六〇	一〇五六〇
郵船	一一〇〇〇	一一一、二〇〇	一〇三、二〇〇	一〇五〇〇
新船	九四〇〇	九四九〇	八八二〇	八九三〇
滿業	七八六〇	七八八〇	七七〇〇	七七三〇
鐵	八三二〇	八三四〇	七七二〇	七七三〇

金融事情

△起債市場 政府金融當局ノ各種貸出抑制方策ノ強化ト預金増勢ノ幾分ノ恢復、政府支拂ノ進捗等ニ依リ金融情勢ハ最近幾分好轉シツ、アルカノ如キ観ガアルガ、未ダ起債市場ノ頭打打開迄ニハ至ラナイ。然シ二十四日ニハ東拓債券三千萬圓ノ條件發表ガアリ、起債當局ノ市場打開工作トシテ一千二百萬圓ノ親引、一千八百萬圓ノ公募デ行ハレタ結果、即日賣切レノ好調ヲ見セ、市場恢復工作トシテ順調ナムタートヲ切ツタ観ガアル。東拓債券條件左ノ如シ。

東拓債券

1. 第百五十九回東洋拓殖債券 2. 發行額 三千萬圓（内シ團親引一千二百萬圓、公募一千八百萬圓） 3. 利率 四分三厘 4. 發行價格 額面百圓ニ付百圓 5. 償還方法及期限 十二ケ年、但ニケ年据置後毎半年六十萬圓以上償還 6. 拂込期限 六月十日 7. 債券募集 日本興銀、鮮銀、第一、三井、三菱、安田、第百、住友、三和、日本信託、正金、野村各銀行及三井、三菱、安田、住友各信託。

△短資市場 短資市場ハ前週末ノ軟調ヲ受ケ且ツ政府支拂ノ進捗ニ多少ノ地方流出アルモ余裕氣味ニテ出合圓滑ニ週初年初來始メテノ六厘五毛ノ安値ヲ出シ軟調保合ヲ續ケタ。而シテ週三ニハ米券二億一千五百萬圓（内市場九千萬圓）モアリ、政府支拂ノ進捗ニ緩慢情勢ヲ續ケ、レートハ週中翌日物最高七厘、最低六厘五毛、中心七厘ト保合ツタ。

△貸出抑制強化　金融部面ヨリスル物價對策トシテ金融當局ハ種々ノ貸出抑制方策ヲ行ツテ來タガ、資金調整法ニヨリ自由ニ認メラシテ居ル專業設備並ニ運轉資金ト雖モ審査ニ嚴重ニシテ必要以上ノ資材購入ヲ目的トスルモノニ付テハ貸出ヲ抑制スベキコトヲ各金融機關ニ要望シテ來タノデアル。而シテ今回大藏省銀行局長ヨリ通牒ヲ發シテ調整標準「甲ノイ」ニ屬スル兵器部分品製造業及航空機部分品製造業等ニ對シテモ軍部當局ノ承認アルモノ以外ハ貸出ヲ抑制スベキ旨ヲ要望スル所アツタ。信用膨脹抑制ヘノ當局ノ方針強化トシテ注目セラレテキル。

◎支那財界專情

廣東港開放後ノ實情

廣東港開放ハ五月二十日ヲ以テ一ヶ月ヲ經過シタガ。此ノ間ニ入港シタ船舶ハ英國籍佛山號（香港―上海間）ガ四回デ積載貨物二百トン。葡國籍昇昌號（澳門―廣東間）ガ六回デ七百トン。日本籍海珠丸（澳門―廣東間）ガ十八回デ一千五百トン。白金丸（廣東―香港間）ガ六回デ三百トンデアリ。貨物ハ殆ド小麥粉デアツタ。關稅ハ一ヶ月ヲ通ジテ輸出品關稅十八萬圓。輸入品關稅四十二萬圓。合計六十萬圓デアツタ。

軍票。聯銀券價格維持策強化

上海軍票相場ハ爲替市場ト關係シ。大体法幣ヲ基準ニ八十圓前後ニ安定セシメテ來タガ。法幣ガ三片台ニ崩レ。軍票ハ法幣百圓ニ付七十七圓台ニ微騰シタノミデアツテ。法幣低落ニヨル物價高ヲ慮スレバ。軍票購買力ハ法幣ト同一歩調デ減少シテキル譯デアリ。各方面ニ沙カラズ又障ヲ來シテキルノデアツタ。此ノ點ニ付興亞院華中連絡部。大藏省財務官室等デハ其ノ對策ヲ種々考究中デアツタガ。此ノ程成案ヲ得タノデ。日本政府ニ於テ最近實施シタ内地ヨリノ支那向旅行制限措置ニ呼應シテ次ノ如ク強化策ヲ講ズルコト、ナツタ模様デアル。

一、從來ヨリ許可制ヲ殊ツテ來タ日本側銀行ノ圓資金貸出統制ヲ一層嚴重ニスル

二、軍票物資交換組合ヲ擴充シ。又漢物資ノ範圍ヲ擴大スルト共ニ同組合ヲシテ單ナル輸

入組合ヨリ配給統制組合ニ迄發展セシメル

三、同組合ニ依ル物資ノ奧地配給ニ付從來宣撫其ノ他ノ關係ヲ考慮シ、法幣物價ヨリカナリ割安ノ場合ガ多カツタガ、斯クテハ徒ニ物資ヲ奧地ニ浸潤セシメルノミデ宣撫ノ目的ニ沿ハヌノミナラズ、軍票回収ノ點ヨリモ面白クナイノデ、差支ヘナキ限り、租界ノ一般法幣物價近ク迄軍票物價ノ水準ヲ引上ゲ、積極的ニ軍票ノ回収ヲ圖ル

地方北支ニ於テモ問題ノ聯銀券強化方策ガ眞劔ニ考究セラレ、前逕ノ支那回渡航者制限及圓系通貨受拂制限等ノ措置ガ採ラレテ來タガ、現地ニ於テモ聯銀券膨脹ノ一因ヲ爲シテキル日本人營業ノ統制ヲ更ニ強化スルコト、ナツタ。即チ北京總領事館デハ五月十八日告示ヲ以テ、居留民取締規則ヲ改正シ、北支ニ於ケル資金放出ノ一源泉タル在留日本人ノ營業ニ關シ從來ノ屆出主義ヲ廢シ許可制ヲ採ルコト、ナリ。軍事上或ハ國策上必要ナモノ、在留邦人ノ日常生活上不可缺ナモノヲ除イテハ當分ノ間新規營業ハ殆ド許可シナイコト、ナツタ。

當行週末主要勘定殘高

康德7年5月25日現在 (單位千圓)

資	產	負	債
貸付金	995,950	拂込資本金諸積立金	34,088
滿洲興業債券價格較差	405	滿洲興業債券發行高	60,000
滿洲儲蓄債券價格較差	5,856	滿洲儲蓄債券發行高	11,937
有價證券	102,971	預金	603,590
諸預金	6,483	政府貸下金	65,000
手許現金	2,968	再割及ビ借入金	198,000
對鮮銀爲替尻貸	—	對鮮銀爲替尻借	37,005
		當座借越及手形借	87,415
		證券募集金	2,500
計	1,114,633	計	1,099,535

滿洲中央銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	平均發行高	準 備	保 證
自 5.12			
至 18	594,315	503,868	290,447

日本銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	發 行 高	正貨準備	保 證	保證ノ内制 限外發行高
5.13	3,120,858	501,287	2,619,572	419,572
14	3,115,446	501,287	2,614,159	414,159
15	3,103,960	501,287	2,602,673	402,673
16	3,086,464	501,287	2,585,177	385,177
17	3,073,519	501,287	2,572,232	372,232
18	3,066,804	501,287	2,565,517	365,517
平 均	3,099,620	501,287	2,598,333	398,333

朝鮮銀行券發行高 (單位千圓)

月 日	發 行 高	準 備	保 證	保證ノ内制 限外發行高
5.13	425,620	264,153	161,466	1,466
14	423,330	266,832	156,497	—
15	423,582	262,016	161,565	1,565
16	422,912	264,645	158,267	—
17	421,561	263,269	158,292	—
18	423,534	260,865	162,668	2,668
平 均	424,029	263,609	160,219	1,211

海外爲金相場

月日	米日	米英	米支	英日	英支
5.20	23.47	3.20	5.65	1/5 1/8	4 11/32
21	23.47	3.26 1/2	5.85	1/5 5/8	4 1/2
22	23.47	3.17	5.75	1/5 1/4	4 11/32
23	23.47	3.19	5.75	1/5 7/8	4 11/32
24	23.47	3.20	5.65	1/5 1/2	4 11/32
25	23.47	3.20 1/2	5.65	1/5 3/4	4 3/8

海外金銀塊相場

月日	倫敦銀塊	紐育銀塊	倫敦金塊	紐育金塊
5.20	休日	"	"	"
21	22 1/8	43 3/4	8/8/0	35
22	22 9/16	35.00	8/8/0	35
23	21 13/16	35.00	8/8/0	35
24	21 5/16	35 1/8	8/8/0	35
25	22 7/16	35 1/4	8/8/0	35

株式相場 (單位圓)

月日	東京短期							
	新				大			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
5.20	1409	1403	1409	1401	720	719	720	718
21	1401	1408	1409	1394	722	719	722	711
22	1414	1418	1420	1409	721	724	724	720
23	1407	1408	1408	1401	720	723	723	719
24	1402	1395	1403	1395	722	717	722	717
25	1394	1404	1404	1390	716	716	716	715

月日	東京短期							
	滿				業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
5.20	823	822	824	820	785	785	788	783
21	822	822	822	819	783	782	785	781
22	816	808	820	808	783	783	784	783
23	800	798	800	793	777	774	777	774
24	793	798	798	797	776	772	776	772
25	775	773	776	715	770	773	773	770

月日	東京短期							
	鐘				日			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
5.20	1671	1671	1680	1670	831	831	833	830
21	1680	1675	1680	1688	825	824	825	815
22	1686	1693	1693	1681	825	824	825	820
23	1676	1681	1681	1674	812	814	818	811
24	1672	1666	1672	1665	811	809	811	809
25	1664	1655	1665	1655	802	805	805	796

株 式 相 場 (單 位 圓)

月 日	奉 天 短 期							
	滿 鐵				滿 業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
5.20	805	804	805	804	763	762	763	762
21	804	804	-	-	763	761	763	761
22	803	791	803	790	764	761	764	761
23	-	785	-	-	750	749	752	749
24	764	778	784	778	750	749	750	749
25	777	776	777	776	746	750	750	746

月 日	奉 天 短 期											
	滿 取				電 甲				電 業			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安	寄	引	高	安
5.20	-	414	415	414	-	482	-	-	639	639	-	-
21	408	399	408	399	-	481	-	-	639	639	-	-
22	390	382	390	371	-	480	-	-	-	637	-	-
23	397	391	397	390	-	480	-	-	-	636	-	-
24	388	382	388	382	-	480	-	-	630	631	631	630
25	378	374	378	370	-	475	-	-	-	631	-	-

月 日	大 連 短 期							
	五 品				大 機 新			
	寄	引	高	安	寄	引	高	安
5.20	365	364	365	365	-	-	-	-
21	365	364	365	364	-	-	-	-
22	365	366	367	365	-	-	-	-
23	363	360	363	358	-	828	-	-
24	360	359	360	359	-	-	-	-
25	358	355	358	355	-	-	-	-

商 品 相 場

(單位圓)

月 日	大 阪 (當 限)		神 戶 (當 限)			
	綿 布(一 反)		棉 花(百 斤)			
	寄	引	寄	引		
5.20	2,920	3,010	66,00	-	4,50	-
21	3,080	3,055	-	-	4,50	-
22	3,035	3,005	納	會	4,50	-
23	3,025	3,040	-	-	4,50	-
24	3,045	2,995	納	會	4,50	-
25	2,990	2,970	納	會	4,50	-

重要商品公定價格

1. 大豆，豆粕及主要糧穀

(單位圓)

地名	品名	單位	價格	備考
新 京	大豆(新麻袋入一等品)	一 草	5,789	- 重要特產物
哈爾濱	全 (")	"	3,644	- 專管法第七
大 連	全 (")	"	4,189	- 條ノ規定ニ
羅 津	全 (")	"	4,090	- 依ル滿洲特
新 京	豆粕(一口千百枚ノモノ)	"	2,700	- 產專管公社
哈爾濱	全 (")	"	2,556	- ノ收買價格
大 連	全 (一口千枚ノモノ)	"	2,997	-
新 京	小麥	國營檢查買入價格	1179	小麥及製粉 專管法第 九條ノ規定 ニ依ル滿洲 製粉管理會 社ノ買入及 販賣價格
		標準品販賣價格	1223	
	高粱 標準品一袋	"	588	主要糧穀統 制法第九條 ノ規定ニ依 ル滿洲糧穀 會社ノ買入 價格
	玉蜀黍 " "	"	608	
	粟 " "	"	1018	
全 國 均 一	麥 粉	特殊品	832	專賣官署所 之地ニ於ケ ル販賣人販 賣價格
		一等	732	
		普通品 二等	652	

重要商品公定價格

2. 米 穀

(單位圓)

地名	品 名	單 位	價 格	備 考	
新 京	1. 水稻粳精米 (風袋込, 貨車乘渡)	45 疋	1458	米穀管理 法第八條 ノ規定ニ 依ル康德 七米穀年 度ニ於ケ ル滿洲糧 穀會社ノ 米穀賣却 價格	
	中北部地方種, 無砂米上米				
	2. 胚 芽 米 (全 上)	"	1560		
	中北部地方種, 上 米				
	3. 水稻糯精米 (全 上)	"	1749		
	上 米				
	4. 陸稻精米 (全 上)	"	1385		
	粳 上 米				
		糯 上 米	"		1661
	輸 入 米	水稻粳精米 (風袋込, 貨車乘渡)			
北海道米 一 等			1421		
朝鮮米 "		45 疋	1449		
	多 手 米 "		1865		

3. 綿 糸 布

地名	品 名	單 位	價 格	備 考	
新 京	綿 糸	十六番手 (選 塔)	(40玉一梱)	39500	原棉綿製品 統制法第八 條ノ規定ニ 依ル元賣捌 最高價格
		二十番手 (選 塔)		44000	
	綿 布	粗 布 (進 賣)	一 反	1670	
		細 布 (進 賣)	"	1570	
		大尺布 (白羊美人)	"	460	
		染大尺布 (鼎發財)	"	590	